

回覧

芸術村かわらばん

2020  
10月号

## 町外からも多くの応募

十月十四日(水)より「西会津国際芸術村公募展二〇二〇」が始まります。全国から世代・地域・ジャンルを超えて、多くの方から応募がありました。およそ一〇〇点の様々な作品が芸術村に並びます。

また、十月十七日(土)の表彰式にはさゆり太鼓による演奏を予定しています。展示は十一月一日(日)までご覧いただけます。お誘い合わせの上、ぜひご来館ください。



※写真は昨年のもになります

## 秋のお花でアクセサリー作り

九月二十七日(日)、秋に採集した草花でアクセサリーづくりを行いました。町外のお客様にはオンラインでご参加いただき、町内のお客様には実際に西会津国際芸術村に来ていただきました。参加者の方は、「思い思いに花を束ね、小さなペンダントを完成させた。普段は草花をじっくり見る機会はありません。改めて花を眺めたり、触れたりすることを楽しめた様子でした。」「植物に触れることで季節を感じる事ができた。」「西会津に実際に行ってみたくなった」と感想をいただきました。



## 新・芸術村購買部始動!

今年度より西会津国際芸術村の販売スペースをリニューアルしました。以前からポストカードなどを販売していましたが、Tシャツや本、リトアニアの白樺を使用したコースターなどの販売をはじめ、さらに充実した内容になっています。ご来館の際にはぜひ、お立ち寄りください。また、四月からは地域商品のオンライン販売支

援を目的にオンラインショップを始めました。今後は滞在アーティストの作品や、西会津の風土から生まれたモノやコトを開発・製造・販売もして行く予定です。西会津の風土を感じてもらえる商品を皆様にお届けしていきたいと思っています。



## まぼろしレストランにて出店!

九月六日(日)と十三日(日)、西会津国際芸術村まぼろしレストランでは、自家焙煎のコーヒーを淹れ、提供している「こしばがコーヒー」がチャレンジ出店し、コーヒーや軽食の販売を行いました。訪れた方は、豊かな香りや豆ごとに異なる味わいを楽しんでいる様子でした。まぼろしキッチンには、どなたでもお使いいただけるチャレンジキッチンです。キッチンの利用を希望される方は、ぜひご相談ください。



## 木工房個別で、ものづくり

芸術村にある木工房では、「プライベート木工教室」として専門スタッフの対面サポートのもと木工によるものづくりを楽しめるサービスを提供しています。個人では作れないような大きな家具をスタッフと一緒に本格的な機械を使用しながら作ることが出来ます。家具だけでなく木皿やマグカップ等も作ることができ、体験した方は、「自分のペースで作れるところやスタッフが付いているところも安心できる」と感想をいただきました。



# YouTube更新しています

## 動画第四弾は「桂の葉でお香づくり」

西会津国際芸術村では四月より、動画の配信をスタートしました。第四弾は桂の葉でお香を作る様子を撮影しました。普段はお線香を使いますが、西会津町のいくつかのお家では、お盆やお彼岸などの特別な機会に手づくりのお香を焚くそうです。夏の終わりを感じさせる懐かしい音にも注目してみてくださいね。

ご紹介した動画はこちら  
から視聴可能です。↓

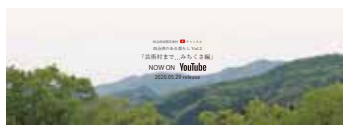


【YouTube】



## NEXT

芸術村までの道のり「ノンストップ編」



## スタッフおすすめ 今月の本「アーミッシュへの旅」

芸術村スタッフのおすすめの本をご紹介します。今月は西尾が担当します。カナダやアメリカに住むキリスト教の一派であるアーミッシュ、写真家である著者が彼らの生活取材する中で綴ったエッセイ本です。コミュニティケーションの障壁を作らないために、新しい文明を受け入れず、十八世紀、当時の暮らしを続け、馬車で移動できる範囲にコミュニティがある、彼らの生活を垣間見ることができ、便利さの中で忘れていた大切なことを気づかせてくれる一冊です。写真もとっても素敵です！

この本は、じぶんカフェにてお読みいただけます。



## 渡部 央也

わたなべ ひさや  
ものづくり人



芸術村の  
人々

今回は芸術村で木工場の専門スタッフとして活躍している渡部さんをご紹介します。渡部さんは、木材や古民具などを新たな家具として生まれ変わらせます。木について詳しく、木を見ただけでなんの木か当ててくれます。愛称は旧姓の間瀬さんです。

## インスタ日誌

# 写真撮影の舞台裏



可愛いそばの花。  
気持ちのいい気温の時に車の窓を開けながら通ると少し独特な匂いがしました。新蕎麦の時期。おいしいそばが食べられますが、寒暖差の厳しい季節でもあるので、体調に気をつけたいですね。

# 寒暖差 # そば

## マワリテメクハ

季節の小話と二句

十月八日 寒露(かんろ)

草木に冷たい露が降りる頃という意味です。朝晩の冷え込みはきつくなりますが、空気がすみ、お月様が綺麗に見える時期でもあります。

十月二十三日 霜降(そうこう)

朝晩の冷え込みがさらに増し、山里では霜が降りはじめのころ。霜は昔、雨と同じように空から降ってくると思われていました。だから「霜が降る」なんです。

今月の一句

澄む空気

遠くの星と

見つめ合う

SNS更新中！  
チェックしてみてね！



【お問い合わせ】西会津国際芸術村  
tel&fax 0241-47-3200  
mail niav.public@gmail.com  
〒969-4622 福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道 5752

【HP】



【instagram】 【Facebook】 【YouTube】 【Twitter】

